

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 4 月 14 日

Table with columns for 事務事業名, 財政事情書公表事業, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, and 法令根拠. Includes details for '健全な財政運営の推進' and '桜川市財政事情書の作成及び公表に関する条例'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 main columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details for financial statement publication and consolidation.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and ④活動指標. Includes data for '財政事情書の資料収集' and '市のホームページで市の予算・決算状況を見た人数'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input costs and personnel costs for 27-31 years. Includes categories like '国庫支出金', '事業費計(A)', and '人件費'.

Table for '事業費の内訳' (Breakdown of business costs) with columns for 28年度実績 and 29年度予算. Includes a '合計' row.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content for 29, 30, and 31 years. Includes a list of activities like '主要事業', '市長マニフェスト', etc., with an arrow pointing to the right.

事務事業名	財政事情書公表事業	事務事業No.	10302000056	所属課	財政課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 財政事情書については、地方自治法243条の3及び合併前からの岩瀬町、真壁町、大和村それぞれの「財政事情書の作成及び公表に関する条例」に基づき、公表を行っている。 連結財務4表については、平成18年8月31日に総務事務次官通知により、普通会計および連結ベースでの財務書類4表を作成することの方針が示されたことによる。財務4表は、法的な義務ではないが、マスコミ等の関心が高く、全国でほとんどの地方公共団体が作成している。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特に、意見や要望はないが、市民にわかりやすい公開を心がけている。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 分析には、財務分析能力と豊富な知識を必要とするため、さらに担当者の能力向上に努める必要がある。	
改革改善を行う	

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	桜川市の財政状況について、市民に対し適切な情報提供を行うことができる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	以前より財政状況の公表は、実施しているが、資産や負債にかかるストック情報、行政サービス提供のために発生したコストの情報を公表することにより、よりわかりやすく、より多角的に財政状況を理解してもらえる。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	連結財務4表の中身を分析することにより、次年度の予算編成に活用する等の向上余地がある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	財政事情の公表は全国の自治体で実施しており、連結財務4表についても全国のほとんどの自治体で平成20年度決算より作成公表を実施している。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	制度に基づいた事業であり類似事業や統廃合の可能性はない
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	業者委託を行わずに職員の手により作成するため削減は難しい。作成のために使われる時間数は多いが、作成のために必要な時間である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	この事業に対する特定の受益者はいない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 連結財務4表の作成公表だけでなく、①内容のより詳細な分析、②内容を住民にもっとわかりやすくすることの2点が課題であると思われる。																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 分析には、財務分析能力と豊富な知識を必要とするため、さらに担当者の能力向上に努める必要がある。また、財務4表の平成29年度(平成28年度決算)作成分より、国の定める統一的な基準により作成することとなるため、平成29年度において支援業務委託費を予算計上した。																										
		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
		(6) 事務事業優先度評価結果 <table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑧</td> </tr> </table>		成果優先度評価結果	⑥	コスト削減優先度評価結果	⑧																			
成果優先度評価結果	⑥																									
コスト削減優先度評価結果	⑧																									

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	---